

エマージングマーケットウィークリー

国際為替部

佐々木 貴彦

03-3242-7065

takahiko.sasaki@mizuho-bk.co.jp

大島 由喜

03-3242-7065

yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

齋藤 周

03-3242-7065

amane.saito@mizuho-bk.co.jp

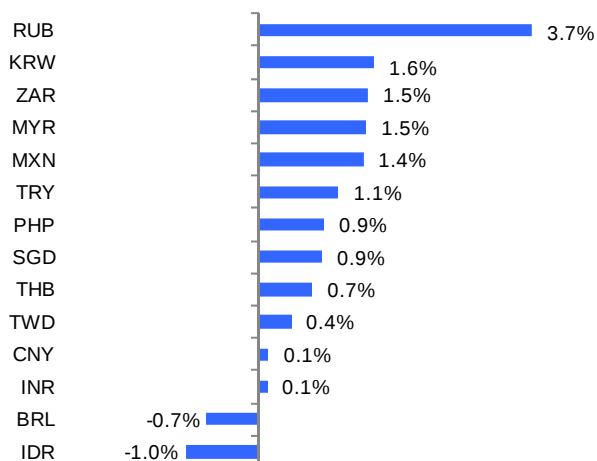
今週のエマージングマーケット

米 9 月利上げは見送り、新興国通貨は上昇

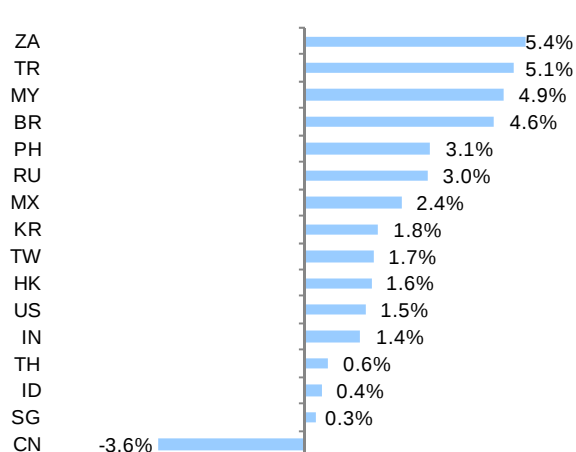
今週の新興国通貨は上昇する展開。17 日の FOMC を目前に、中国経済の停滞や世界的な株価の下落を受けて米 9 月利上げ期待は縮小していた。そうした中、15 日に発表された米 8 月小売売上高が市場予想を下回るも、7 月分のデータが上方修正されたことで米国経済の底堅さが意識され、新興国通貨の上昇ペースは鈍化。しかし、16 日に発表された米 8 月消費者物価指数（CPI）が今年 1 月以来の前月比マイナスを記録したことで 9 月利上げ期待は一気に後退、ドル売り新興国通貨買いの流れとなった。また、米国での産油量見通し及び原油在庫が減少したことを背景に原油価格は上昇し、資源国通貨の反発が大きくなった。そして 17 日の FOMC では利上げが見送られたことで、新興国通貨は急上昇。しかし、イエレン FRB 議長が記者会見において 10 月利上げの可能性も引き続き残ると発言したことから売り戻され、結局 FOMC 前の水準での推移となった。

個別通貨でみると、中国景気の低迷や政府による公共投資執行の遅れを受けて IDR は下落（▲1.0%）。他方、週後半に原油価格が上昇したことを背景に RUB（+3.7%）、MYR（+1.5%）、MXN（+1.4%）の上昇が目立った。格付け会社 S&P による格上げを受けて KRW が上昇（+1.6%）したほか、FRB が利上げを見送ったことで ZAR は値を戻した（+1.5%）。

エマージング通貨騰落率(対ドル)



エマージング株式騰落率



(注) US: 米国 S&P500 種指数、CN: 中国上海総合指数、HK: 香港ハンセン指数、IN: インド SENSEX30 種指数、ID: インドネシアジャカルタ総合指数、KR: 韓国総合株価指数、MY: マレーシア FTSE ブルサマレーシア KLCI インデックス、PH: フィリピン総合指数、SG: シンガポール ST 指数、TW: 台湾加権指数、TH: タイ SET 指数、RU: ロシア RTS 指数、ZA: 南アフリカ FTSE/JSE アフリカ全株指数、TR: トルコイスタンブールナショナル 100 種指数、BR: ブラジルボベスバ指数、MX: メキシコボルサ指数

(資料)ブルームバーグ

エマージングマーケット短期見通し

冴えない中国景況感指数を受け、売り基調に戻る展開を予想

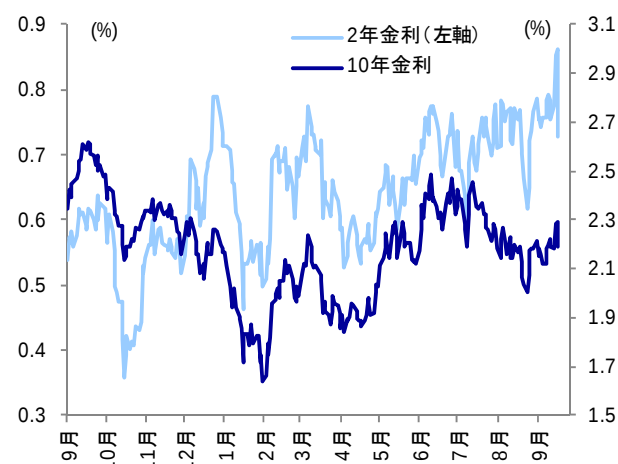
週を通じて新興国通貨は買い基調となるも、月次でみれば売り基調は継続

今週の新興国通貨は、FOMCを控えて米経済指標の結果に一喜一憂しつつ、週を通しては買い戻される展開となった。但し、前月末の水準を超えてまで買い戻された通貨は少ない。例えば、今週大きく買い戻された RUB も、月中に売られた分を取り戻したに過ぎない。その他、MYR は月初の水準を回復するまでには至らず、TRY は先週対比買われるも対ドルで 3.0 という節目を抜けられずにいる。こうした一連の値動きから、一時的なポジション調整で買い戻されたものの、新興国通貨を取り巻く環境は依然変わっていないことを再認識させられる。FOMC 後の記者会見でイエレン議長は、10 月利上げをする際は声明文発表後に急遽記者会見を開くと発言しており、「年内」であればいつでも利上げに踏み切れる余地を残した。中国経済指標は依然として冴えない結果が続き、原油は反発も低位にとどまる。今回の FOMC を受けても、年内については新興国通貨安基調が続く、という我々の見方は維持したい。

FOMC が終わり、焦点は再び中国に。しかし、冴えない中国経済指標を受けて、新興国通貨は売り戻される展開を予想

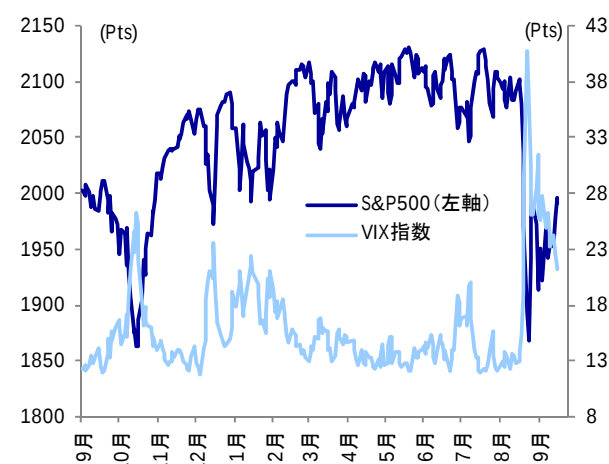
来週の新興国通貨は、再び売り基調に戻ると予想する。注目のイベントは、23 日（水）に発表される財新中国製造業 PMI だが、足許の貿易統計及び生産統計でも減速傾向は続いており、今回も景況判断の境目である 50 を引き続き大きく下回る結果になると筆者は考えている。同指標の結果を受けて、一旦買い戻された新興国通貨は再度売りなおされるだろう。しかし、原油価格も底入れの様相を呈しているほか、上海株も 3000 割れは介入等により阻止され大崩れには至っていないことから、大きく売り込まれる可能性は低いと考える。なお、今週末にギリシャ選挙を控えているが、与野党ともに過半数を取れず連立政権を組む見込みである。選挙後の連立交渉が暗礁に乗り上げるようであれば、リスクオフムードを高め、新たな新興国通貨の売り要因になりうるだろう。

図表 1: 米国債利回りの推移(過去 1 年間)



(資料)ブルームバーグ

図表 2: 米株と VIX 指数の推移(過去 1 年間)



(資料)ブルームバーグ

エマージングマーケット:国別の注目材料

メキシコ: 金融政策決定会合プレビュー

メキシコ中銀は、FRB と足並みを揃えて政策金利を据え置くと予想

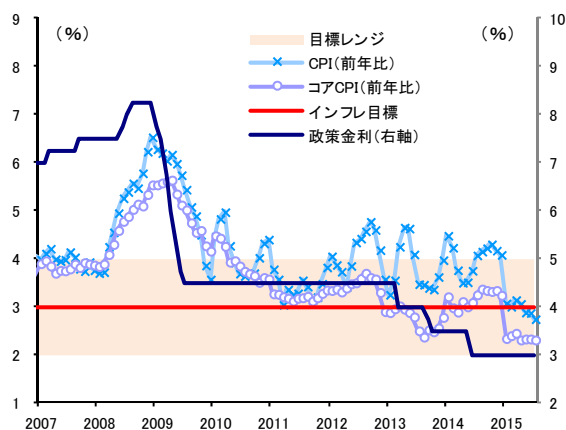
21 日(月)に開催されるメキシコ中銀の政策決定会合ではオーバーナイト金利の据え置きを予想する。8 月 12 日に公表されたインフレレポートや前回会合(7 月 30 日)の議事要旨において、同中銀は米国の利上げ開始に伴う資金流出を防ぐため、FRB に合わせて利上げを行う方針を引き続き明示した。よって、17 日の FOMC で利上げが先送りされたことから、今次会合では足並みを揃えて、政策金利は据え置かれると考える。なお、インフレレポートにて、同中銀は 2015 年の成長率見通しを+2.0%~+3.0%から+1.7%~+2.5%に引き下げるも、インフレ率は+3.0%前後で推移すると発表した。また、MXN が急激に売り込まれる等資本市場のボラティリティが高まる局面においては、緊急利上げの可能性も指摘している。以上のことから、低調な経済成長を背景に MXN 安基調は続くものの、急落は回避されると予想する。

トルコ: 金融政策決定会合プレビュー

トルコ中銀は、預金準備率引き上げにて TRY 安に対処する一方で、過度な景気鈍化を避けるため現状維持をすると予想

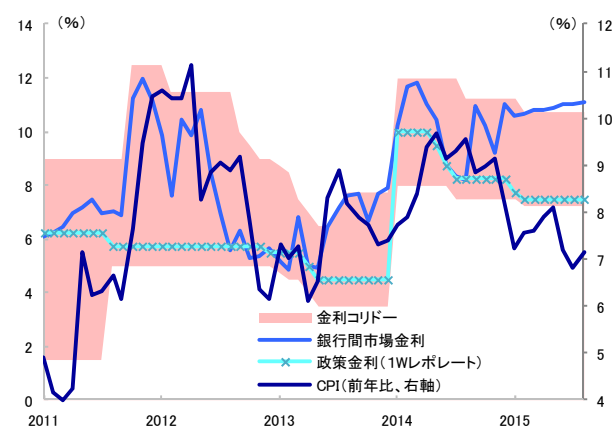
22 日(火)のトルコ中銀(CBRT)の金融政策決定会合では、金融政策の現状維持を予想する。前回会合(8 月 18 日)の声明文では、足許の消費者物価指数(CPI)は CBRT の年内予想値(+6.9%)にほぼ近い前年比+7.14%で推移しているものの、変動が激しい食品価格等の動きを注視し、インフレ懸念が十分後退するまでは慎重な政策スタンスを継続すると表明した。また CBRT は、急激な TRY 安抑制にも注力しており、8 月 29 日に短期の外貨借り入れに対する準備率を引き上げたほか、TRY 建の預金準備にかかる金利について、12 月 1 日までに 150bp 引き上げると発表した。以上のように、CBRT は TRY 安を抑制するべく政策金利以外の金利を引き上げる一方で、過度な景気鈍化を引き起こさないよう、政策金利の引き上げは踏みとどまっている。よって、TRY 安が急激に進行しない限り、CBRT は現政策を維持すると予想する。

図表 3: メキシコ 政策金利と消費者物価



(資料)メキシコ中銀、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: トルコ 政策金利と消費者物価



(資料)ブルームバーグ、CEIC、みずほ銀行

南アフリカ：金融政策決定会合レビュー

物価上昇基調が続くと予想されるも、国内経済の鈍化を背景に、南アフリカ中銀は当面現状維持すると予想

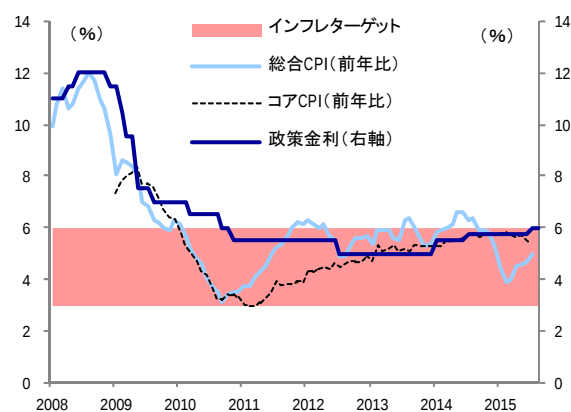
23 日（水）に開催される南アフリカ中銀(SARB)の金融政策決定会合は現状維持を予想する。SARB は前回(7 月 23 日)の会合にて、電気料金の引き上げ等を背景に来年 1～6 月期にかけて CPI が目標レンジの上限を突破する可能性があることから、政策金利を 25bp 引き上げ 6.00% とすることを決めた。足許の CPI は緩やかな上昇(7 月 CPI 前年比+5.0%)に留まっているものの、先行きのインフレ期待に大きな変化が見られないと判断した。しかし、4～6 月期の GDP 成長率が前年比+1.2%と 2010 年以来の低い伸び率になる等、国内経済の鈍化が続いている現状では、更なる利上げは難しいと考える。なお、SARB は来年 1～3 月期に CPI が前年比+6.8%まで加速することを見込んでいることから、当面は現状を維持するも、インフレ率の高まりを受けて年末にかけて利上げを再開するだろう。

韓国：金融政策決定会合レビュー

韓国中銀は、経済の見通しについて懸念を強めている。来月の貿易統計の結果次第では、年内追加利下げに踏み切ると予想

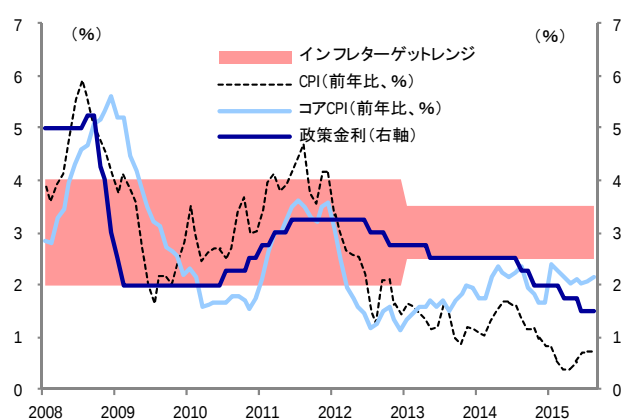
韓国中銀(BOK)は 11 日の金融通貨委員会にて予想通り、全会一致で政策金利を現状の 1.5%に据え置くことを決定した。声明文では、前回会合よりも経済全体の見通しについて慎重なトーンが目立った。特に国内経済の見通しに関して、「中東呼吸器症候群(MERS)からの回復」という主旨の文言が消え、国内経済を取り巻く環境の不透明性が「高い」から「高まっている」とより厳しい表現に変更された。会合直前の 9 月 1 日に発表された 8 月貿易統計では、中国経済の落ち込みを背景に輸出が前年比▲14.7%と市場予想(同▲5.9%)を大きく下回り、2009 年 8 月以来の低水準となった。韓国の GDP に占める輸出の割合は 5 割程度であり、中国経済の停滞による国内景気低迷を BOK は懸念している模様だ。来月 1 日に発表される 9 月貿易統計で輸出の弱い動きが続いた場合、BOK が年内追加利下げに踏み切る可能性が高まるだろう。

図表 5：南アフリカ 政策金利と消費者物価



(資料)ブルームバーグ、CEIC、みずほ銀行

図表 6：韓国 政策金利と消費者物価



(資料)ブルームバーグ、CEIC、みずほ銀行

マレーシア：マレーシア中銀は、現状維持を決定

マレーシア中銀は、世界経済の鈍化を懸念しつつも、国内経済の今後については楽観視

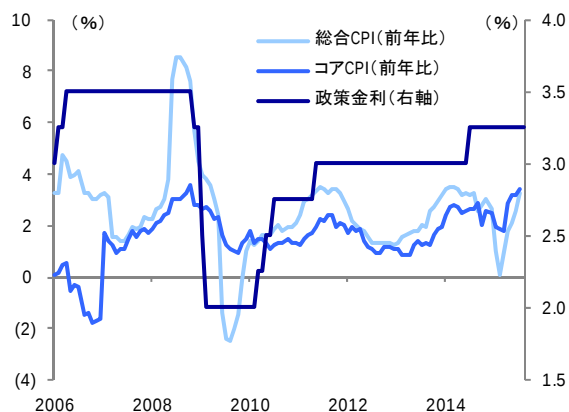
マレーシア中銀（BNM）は 11 日の金融政策決定会合にて市場予想通り、政策金利を現状の 3.25% に据え置くことを決定した。声明では、世界経済の見通しを下方修正したものの、消費を中心とした国内経済の回復に対して前向きな見方を示した。背景には、前回会合（7 月 15 日）後の 8 月 13 日に発表された 4～6 月期 GDP 成長率が、物品・サービス税導入にも拘わらず前年比+4.9%と市場予想（同+4.5%）を上回る成長になったことがあると思われる。なお、物価見通しに関しては、来年にかけて上昇した後、緩やかに低下するとの見方は維持しつつも、ピークアウトの時期を 2016 年下期前から 2016 年 1～3 月期へと前倒した。BNM は国内景気への危機感を強めておらず、またインフレ見通しについても早期ピークアウトを見込む等こちらも警戒感が後退していることから、年内は現状維持を続けると予想する。

ロシア：ロシア中銀は、物価急上昇を背景に、追加利下げを見送り

ロシア中銀は、インフレ率の高まりを懸念し、6 会合ぶりに利下げを見送り

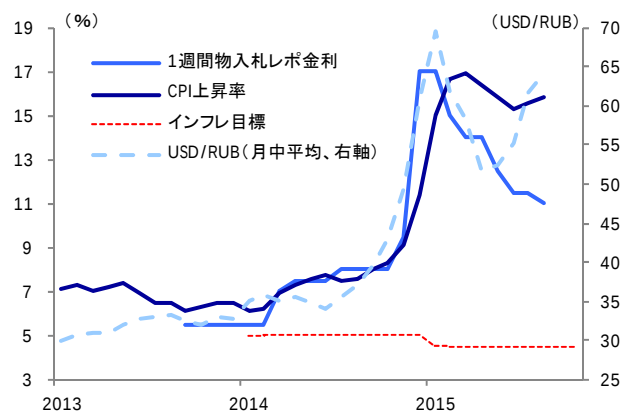
ロシア中銀（CBR）は 11 日に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を現状の 11.00% に据え置くことを決定した。CBR は今年に入り 5 会合連続で計 6.00% の利下げを実施してきたものの、今回の声明文では RUB 安によるインフレ圧力の増大に警戒感を示しており、これ以上の追加利下げが難しくなっているとみられる。一方で、内需の低迷と過去の金融引き締め効果が CPI の伸びを将来的に抑えるとしており、8 月時点で前年比+15.8%と高水準の CPI が、2016 年 9 月には同+7%、2017 年には同+4%と徐々に低下するとの見通しを示した。また、2015 年の経済成長率を前年比▲3.2%から同▲3.9%～▲4.4%に下方修正する等、更なる鈍化を予想している。今後はインフレ率低下に伴う利下げ余地が拡大すると想定されることから、CBR は来年に入り再び追加利下げを行うと考えている。

図表 7： マレーシア 政策金利と消費者物価



(資料)ブルームバーグ、CEIC、みずほ銀行

図表 8： ロシア 政策金利と消費者物価



(資料)ブルームバーグ、CEIC、みずほ銀行

タイ:タイ中銀(BOT)は政策金利を据え置き

タイ中銀は、景気・物価の現状判断を維持し、過去の緩和効果やバートン安の効果を見極める姿勢を打ち出す

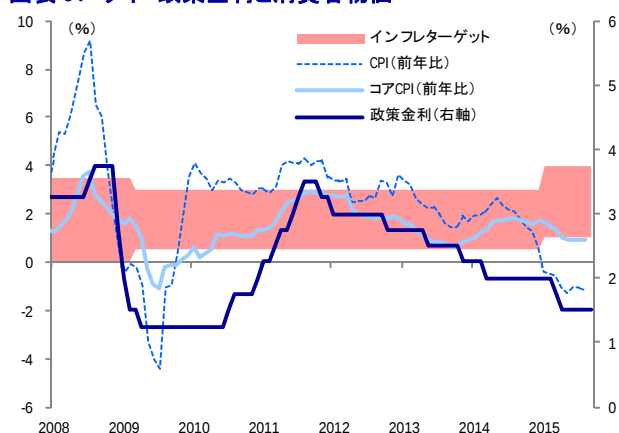
16日に開催された金融政策決定会合にてタイ中銀(BOT)は全会一致で1.50%の政策金利据え置きを決定した。声明文では、景気・物価の認識は前回会合から大きな変化は見られなかった。7月までの景気は観光業や公共投資を中心に緩やかな回復が続いているとしたほか、物価低迷の理由にエネルギー価格が指摘された。他方、先行きについては為替相場を含めた金融環境が景気回復を後押しするとしており、足許の為替水準に対して肯定的な態度が新たに示されたほか、物価見通しでは弱気な表現が強まっている。BOTは今後の政策運営では金融市場の安定性を確保しつつ、引き続き緩和的な金融政策を継続すると表明した。しかし、バンコクでの爆破テロ(8月17日)を受けた観光客減少や人民元の切り下げ(8月11日)等、タイ経済を取り巻く環境は8月以降に大きく変化しており、予断を許さない状況にある。当面BOTは金融政策を維持すると予想するが、国内景気的大幅減速が見られた場合にはBOTに対する利下げ圧力が高まるだろう。

インド:消費者物価指数は低い伸び率が続く

食料品価格への上昇懸念は依然残るも、物価低下基調が強まったことから、次回会合でインド中銀は追加利下げを行うと予想

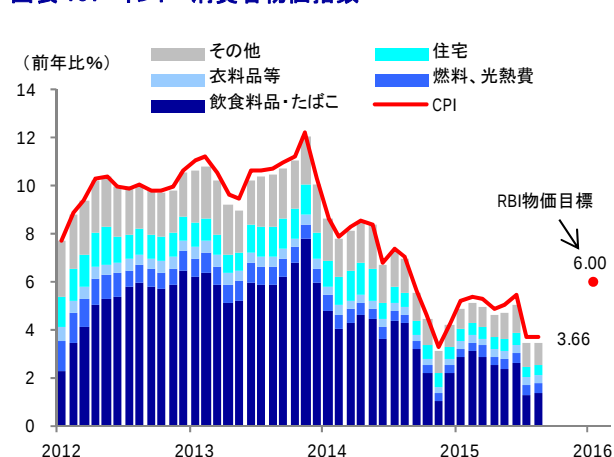
14日に発表されたインド8月CPIは前年比+3.66%と市場予想(同+3.57%)を上回ったものの、7月(同+3.69%)を下回り2014年11月以来の低水準となった。内訳をみると豆類(7月前年比+22.9%→8月同+25.8%)や野菜(7月同▲8.0%→8月同▲6.4%)等の生鮮食品の押し上げが目立った。一方、原油価格下落を背景に運輸・通信(7月同▲0.4%→8月同▲1.0%)が低下したほか、教育や個人サービス等が物価を下押しした。モンスーン期(雨期)に当たる8月中旬の降水量が過去平均の9割程度に留まる等、食料品価格上昇への懸念は依然として残存している(インドではモンスーン期の雨量が食料品価格に影響)。他方、8月

図表 9: タイ 政策金利と消費者物価



(資料)ブルームバーグ、CEIC、みずほ銀行

図表 10: インド 消費者物価指数



(資料)ブルームバーグ、CEIC、みずほ銀行

31日に発表されたインド4～6月期GDPが前年比+7.0%と1～3月期（同+7.5%）から低下しており、インド経済は力強さに欠けている。ラジャン・インド中銀（RBI）総裁は8月29日に報道機関のインタビューに対して、RBIの金融政策は緩和局面にあり、追加利下げの機会があるかを見極めるため指標を注視していると発言した。これまでは降雨不足による物価上昇懸念から利下げに踏み切らなかった模様だが、8月のCPIが引き続き低水準になったことで、9月29日に予定されている政策決定会合にて25bpの利下げに踏み切る可能性が高いだろう。

エマージング経済カレンダー

日付	国	経済指標・イベント	市場予想	発表値	前回値	修正値
エマージングアジア						
9月11日 (金)	インド	2Q 国際収支:経常収支	-\$5.5B	-\$6.2B	-\$1.3B	--
11日 (金)	中国	8月 マネーサプライM2(前年比)	13.3%	13.3%	13.3%	--
11日 (金)	中国	8月 新規融資 (人民元)	850.0B	809.6B	1480.0B	--
11日 (金)	マレーシア	9月 BNM翌日物政策金利	3.25%	3.25%	3.25%	--
11日 (金)	韓国	9月 韓国銀行7日間レートの	1.50%	1.50%	1.50%	--
13日 (日)	中国	8月 小売売上高(前年比)	10.6%	10.8%	10.5%	--
13日 (日)	中国	8月 鉱工業生産 (前年比)	6.5%	6.1%	6.0%	--
13日 (日)	中国	8月 固定資産投資(除農村部/年初来/前年比)	11.2%	10.9%	11.2%	--
14日 (月)	インド	8月 消費者物価指数(前年比)	3.57%	3.66%	3.78%	3.69%
15日 (火)	インド	8月 貿易収支	-\$10522M	-\$12478M	-\$12812M	--
15日 (火)	インドネシア	8月 貿易収支	\$776M	\$434M	\$1332M	\$1384M
15日 (火)	フィリピン	7月 海外送金(前年比)	5.0%	0.5%	6.1%	--
16日 (水)	タイ	8月 タイ中央銀行指標金利	1.50%	1.50%	1.50%	--
17日 (木)	シンガポール	8月 非石油地場輸出(前年比)	-3.5%	-8.4%	-0.8%	-0.7%
17日 (木)	インドネシア	9月 インドネシア銀行レファレンス・レート	7.50%	7.50%	7.50%	--
18日 (金)	フィリピン	8月 総合国際収支	--	--	\$354M	--
23日 (水)	マレーシア	8月 消費者物価指数	--	--	3.3%	--
23日 (水)	シンガポール	8月 消費者物価指数	--	--	-0.4%	--
23日 (水)	フィリピン	7月 貿易収支	--	--	-\$555M	--
23日 (水)	中国	9月 Caixin 中国製造業PMI	47.8	--	47.3	--
24日 (木)	フィリピン	9月 BSP翌日物借入金利	--	--	4.00%	--
24日 (木)	台湾	9月 CBC指標金利	--	--	1.88%	--
24~29日	タイ	8月 貿易収支(通関ベース)	--	--	\$770M	--
25日 (金)	韓国	9月 消費者信頼感	--	--	102	--
中東欧・ アフリカ						
9月10日 (木)	南アフリカ	7月 製造業生産(季調済/前月比)	-1.2%	0.3%	0.9%	0.8%
10日 (木)	トルコ	7月 経常収支	-3.55B	-3.15B	-3.36B	-3.28B
10日 (木)	トルコ	2Q GDP(前年比)	3.1%	3.8%	2.3%	2.5%
10日 (木)	南アフリカ	7月 鉱物生産量(前年比)	2.8%	5.6%	4.0%	5.4%
11日 (金)	ロシア	7月 貿易収支	12.7B	10.7B	13.8B	--
11日 (金)	ロシア	9月 主要金利	11.00%	11.00%	11.00%	--
15日 (火)	南アフリカ	2Q 経常収支	-146B	-124B	-189B	-185B
15日 (火)	ロシア	8月 鉱工業生産(前年比)	-4.5%	-4.3%	-4.7%	--
22日 (火)	トルコ	9月 指標レートの	--	--	7.50%	--
23日 (水)	南アフリカ	8月 消費者物価指数(前年比)	4.9%	--	5.0%	--
23日 (水)	南アフリカ	9月 SARB政策金利発表	6.00%	--	6.00%	--
ラテンアメリカ						
9月10日 (木)	ブラジル	8月 IBGEインフレ率IPCA(前年比)	9.54%	9.53%	9.56%	--
11日 (金)	メキシコ	7月 鉱工業生産(前年比)	0.5%	0.7%	1.4%	1.3%
16日 (水)	ブラジル	7月 広義小売売上高(前月比)	-0.2%	0.6%	-0.8%	-0.7%
17~19日	ブラジル	7月 経済活動(前年比)	-4.4%	--	-1.2%	--
22日 (火)	ブラジル	9月 IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	--	--	9.57%	--
23日 (水)	メキシコ	7月 小売売上高(前年比)	--	--	5.40%	--
23日 (水)	ブラジル	8月 経常収支	--	--	-\$6163M	--
24日 (木)	メキシコ	7月 経済活動IGAE(前年比)	--	--	3.11%	--

(注)2015年9月18日現在、信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性を全面的に保証するものではありません。
(資料)ブルームバーグ

エマージング通貨相場見通し

		2015年 1～8月（実績）	SPOT	9月	12月	2016年 3月	6月	9月
対ドル								
エマージングアジア								
中国人民元	(CNY)	6.1818 ～ 6.4489	6.3658	6.40	6.45	6.40	6.36	6.30
香港ドル	(HKD)	7.7496 ～ 7.7744	7.7501	7.76	7.76	7.76	7.76	7.76
インドルピー	(INR)	61.295 ～ 66.765	66.460	66.5	68.0	66.5	65.0	63.0
インドネシアルピア	(IDR)	12378 ～ 14196	14459	14300	15000	14800	14500	14000
韓国ウォン	(KRW)	1065.21 ～ 1199.68	1165.95	1190	1220	1200	1170	1140
マレーシアリング	(MYR)	3.4960 ～ 4.2995	4.2537	4.25	4.28	4.25	4.15	4.02
フィリピンペソ	(PHP)	43.950 ～ 46.845	46.482	47.2	47.8	47.5	46.7	46.0
シンガポールドル	(SGD)	1.3151 ～ 1.4169	1.3967	1.42	1.43	1.39	1.36	1.33
台湾ドル	(TWD)	30.354 ～ 33.015	32.474	32.70	33.00	32.80	32.50	32.00
タイバーツ	(THB)	32.29 ～ 35.94	35.78	36.0	37.0	36.5	35.5	34.7
ベトナムドン	(VND)	21256 ～ 22547	22509	22550	22550	23000	23000	23000
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	48.1365 ～ 71.8030	65.5710	70.00	70.00	68.00	65.00	60.00
南アフリカランド	(ZAR)	11.2575 ～ 14.0682	13.2897	13.50	13.50	13.00	12.50	12.50
トルコリラ	(TRY)	2.2727 ～ 3.0031	3.0070	3.10	3.30	3.40	3.50	3.50
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	2.5493 ～ 3.6823	3.8977	3.90	3.90	3.90	4.00	4.00
メキシコペソ	(MXN)	14.4357 ～ 17.3056	16.5874	17.10	17.30	17.00	16.90	16.60
対円								
エマージングアジア								
中国人民元	(CNY)	18.210 ～ 20.285	18.875	19.06	18.91	18.91	18.87	18.89
香港ドル	(HKD)	14.946 ～ 16.233	15.504	15.72	15.72	15.59	15.46	15.34
インドルピー	(INR)	1.747 ～ 1.971	1.808	1.83	1.79	1.82	1.85	1.89
インドネシアルピア	(100IDR)	0.829 ～ 0.969	0.831	0.853	0.813	0.818	0.828	0.850
韓国ウォン	(100KRW)	9.688 ～ 11.266	10.298	10.25	10.00	10.08	10.26	10.44
マレーシアリング	(MYR)	27.635 ～ 34.334	28.414	28.71	28.50	28.47	28.92	29.60
フィリピンペソ	(PHP)	2.521 ～ 2.800	2.599	2.58	2.55	2.55	2.57	2.59
シンガポールドル	(SGD)	82.40 ～ 92.89	86.02	85.92	85.31	87.05	88.24	89.47
台湾ドル	(TWD)	3.551 ～ 4.078	3.705	3.73	3.70	3.69	3.69	3.72
タイバーツ	(THB)	3.267 ～ 3.737	3.358	3.39	3.30	3.32	3.38	3.43
ベトナムドン	(100VND)	0.5178 ～ 0.5768	0.5338	0.54	0.54	0.53	0.52	0.52
中東欧・アフリカ								
ロシアルーブル	(RUB)	1.644 ～ 2.652	1.832	1.74	1.74	1.78	1.85	1.98
南アフリカランド	(ZAR)	8.751 ～ 10.453	9.036	9.04	9.04	9.31	9.60	9.52
トルコリラ	(TRY)	39.182 ～ 52.258	39.856	39.35	36.97	35.59	34.29	34.00
ラテンアメリカ								
ブラジルレアル	(BRL)	32.671 ～ 46.148	30.824	31.28	31.28	31.03	30.00	29.75
メキシコペソ	(MXN)	6.764 ～ 8.199	7.242	7.13	7.05	7.12	7.10	7.17

（注）1. 実績の欄は8月31日まで。SPOTは9月18日の8時45分頃。2. 実績値はブルームバーグの値。3. 予想の欄は四半期末の予想。

（資料）みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。